

教 科		芸 術		科 目	音 楽 I	単位数	2
学 年		1 年		類 型	流通経済科・情報ビジネス科 地域ビジネス科・商業科		
教科書（出版社）		高校生の音楽1（教育芸術社）					
副教材（出版社）							
授 業 の 概 要		音楽の諸活動を通して、創造的な表現の能力を伸ばし、鑑賞の能力を高め、音楽を愛好する心情を養う。音楽の組み立て方の把握と表現との関わりや、簡単な旋律の創作、タブレット端末による創作表現を体験する。					
授 業 の 目 標		音楽の諸活動を通して、創造的な表現の能力を伸ばし、鑑賞の能力を高め、自ら音楽作品や総合芸術に積極的にふれあい、生涯にわたって音楽を愛好する心情を養う。					
年 間 学 習 計 画		学習内容（単元・項目）			学 習 目 標		
	1 学 期	・校歌  ・リコーダー実習  ・のぼら  ・カロ・ミオ・ベン  ・メヌエット  ・J.S.バッハ			・校歌の意義を認識し、歌詞の意味や表現に親しむ。  ・アルトリコーダーの演奏の基本を理解する。  ・原語歌詞に親しみ、感情豊かに歌う。  ・楽曲の歌唱と鑑賞を通してイタリア歌曲に親しむ。  ・2重奏に取り組み、完成度の高い演奏を目指す。  ・バッハの作品を鑑賞し、バロック様式の音楽に親しむ。		
	2 学 期	・和音と旋律  ・故郷  ・モーツァルト  ・ガレージバンドの実習			・和音を利用して旋律や対旋律を創作する。  ・季節に合った楽曲を歌い、歌う喜びを感じ取る。  ・「アマデウス」を鑑賞し、時代背景やオペラなどの作品の背景を知る。 ・タブレット端末の作曲アプリを通して楽曲の創作活動に親しむ		
	3 学 期	・ボレロ  ・情景描写の音楽  ・日本の伝統音楽			・オーケストラの楽器とその音色を知り、その響きの豊かさを味わう。 ・情景描写の音楽（標題音楽）の代表作品の鑑賞をする。 ・名曲の特徴を絶対音楽と標題音楽の視点から考えさせる。 ・雅楽や、能・狂言を鑑賞し、その心情や音楽と舞踊の日本的な美を味わう。		
観 点 別 評 価	関心・意欲・態度		音楽表現の創意工夫		音楽表現の技能		鑑賞の能力
	様々な表現形態による歌唱活動に関心を持ち、それらの演奏効果を生かして歌うことに主体的に取り組もうとしている。		リズム、旋律、テクスチュア、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感じながら、歌詞の内容をかかわらせて、様々な表現形態による歌唱の特徴を生かした音楽表現を工夫して、どのように歌うか表現意図をもっている。		曲想を歌詞の内容とかかわらせて、イメージをもって音楽表現をするために、必要な歌唱の技能を身に付け、創造的に表している。		音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、日本や世界の歌、楽器の音色の特徴と表現の効果上とのかかわりを感じ取って、その文化的・歴史的な背景を踏まえて音楽の多様性を理解し、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
備 考	4つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し、総合的に評価する。						